

# 抽象彫刻 抽象表現に挑戦 一無から有 存在するものへー

講座名：美術II 2単位 30名（前任校 千葉県立津田沼高等学校での実践）

## 1. この授業でつけたい力（題材の目標）

- ・抽象彫刻制作を通して自分の好きな形を追求し、現実には存在しない美しさを表現することができる。
- ・抽象表現の理解を深め、制作者の意図や感情を感じ取ることができる。

## 2. 題材設定の理由

美術館以外でも抽象彫刻は街中に点在している。それを見たとき「よくわからないもの。」として認識するのではなく、抽象とは何かを自分が制作することにより、制作者の意図や感情を感じ取る感性を身に付けさせたい。

## 3. 展開

展開	主な内容	時間数
導入	①抽象について学ぶ ・抽象表現が生まれるまでの歴史を学ぶ。 ②抽象彫刻トレーニング ・紙粘土で自分の好きな形を遊びの中から探していく。	3時間
構想	①テーマを決める ・自分の作った粘土の形の中から気に入った形を選び、テーマを決める。 ②アイデアスケッチをする ・決めたテーマから連想される形や線をスケッチブックにまとめ、抽象彫刻の形を決める。	1時間
制作	①紙粘土で抽象彫刻づくり ②抽象彫刻を乾燥させ、やすりがけをする ・乾燥させた抽象彫刻に60番から400番までの紙やすりをかける。 ・ジェットンを塗る。（汚れなどを消すため。） ・ジェットン乾燥後、光沢を出したい生徒は800番・1500番のやすりがけをする。 ③ケントボードで台座をつくる ・テーマに合った台座の形をスケッチブックで考え、ケントボードに下描きをし、着彩後カッターで切る。	8時間
鑑賞	生徒同士の作品を鑑賞し、感想を書く。	1時間

## ワークシート

抽象彫刻に挑戦 一無から有 存在するものへー (No.1)

クラス( ) 美術番号( ) 名前( )

**抽象彫刻トレーニング**

いきなり「今ある世界に存在しない独特な形の美しさを表現しなさい」と言われても訳が分からないと思いますので、トレーニングをしたいと思います。

①以下の形の粘土を作る。

- 球 (大1個・小2個)
- 立方体 (大1個・小2個)
- 直方体 (大1個・小2個)
- 円錐 (大1個・小2個)
- 好きな形 (2個)

※大き目の目安  
「大」→親指の長さ位  
「小」→親指の半分位

板状の粘土 (正方形)  
厚さ→ヘラと同じ位  
一辺の長さ→  
人差し指の長さ位

※板状の粘土を作る上での注意点  
粘土板の上でニールを巻き、伸ばす粘土の上にもビニールをのせましょう。  
※粘土板や棒に粘土がくっつきやす。

②作った形を組み合わせ、面白い形や美しい形を見つけましょう。

球をくっつけてみたり…

立方体や直方体をくっつけてみたり…

板状の粘土に切り込みを入れ…

ぐるぐる巻いてみたり…

※余った粘土を使用して球や立方体などを増やしても良い。

抽象彫刻に挑戦 一無から有 存在するものへー (No.2)

クラス( ) 美術番号( ) 名前( )

**抽象彫刻づくり**

抽象彫刻トレーニングで作ったものを元に、抽象彫刻をつくっていく。自分が気に入った形を観察し、テーマを決め、形の表現をより深めていく。

<制作手順>

①テーマを決める。

テーマ：風

②テーマに沿ってトレーニングで作ったものを元に、スケッチブックでアイデアを考える。（簡単にまとめましょう。）

③制作を開始する。

④抽象彫刻が完成したら乾燥させる。

⑤抽象彫刻を乾燥させている間に…

自分の作品に合った台座を「ケントボード」で制作する。※台座は正方形や長方形と決まっているわけではないので、形を工夫して切ってください。時間のある人は着色しても良いでしょう。

⑥抽象彫刻のやすりがけ

⑦抽象彫刻にジェットン（下地剤）を塗る。

⑧完成

※時間のある生徒はジェットンを塗った上からまたやすりをかけましょう。光沢が出てきます。

制作する上での POINT

- ・シンプルな形ほど遠な部分などが目立ちます。ヘラなどを上手に使い丁寧に仕上げましょう。
- ・乾燥時間を無駄にしない。台座など作品をより良くするために工夫しましょう。

抽象表現の制作に入る前に、どんな形が自分は好きなのか、美しいと感じるのかを考えるため、色々な形を遊びの中で見つけていく。

その遊びの中で、気に入った形をひとつ決め、テーマをつけ、単純な形ではなく、より発展的な表現にしていく。

## 4. 抽象彫刻制作の課程と生徒作品

自分の好きな形を探究

テーマを決め、アイデアスケッチ

抽象彫刻完成作品  
作品タイトル  
春の芽生え

自分の好きな形を探究

抽象彫刻完成作品

作品タイトル  
春の夜／夢の浮き橋  
とだえに／峰に別れる／横雲の空

作品テーマ  
朝の訪れに伴う別れ  
及び目覚め

作品タイトル 時  
テーマ 時間

時間は一定（球形）  
だけど感じ方が違う（不規則）な感じ  
を出しました。

作品タイトル 嵐  
テーマ 嵐

逆三角錐をねじり、  
台座に風の強さと  
海の大波を表現し  
ました。

作品タイトル 不安  
テーマ 不安

テーマが不安だったので曲線や  
直線を組み合わせて、不安定な感  
じを表した。組み立ててもきれいに  
並べないで、倒れそうな感じにした。

## 5. 観点別評価

### (1) 美術への関心・意欲・態度

抽象表現に興味・関心を持ち、全ての制作に対して主体的に自分の表現を追求することができた。

### (2) 発想や構想の能力

感性を働かせて、形の見しさの追求からテーマの生成をし、抽象的な表現の構想を練ることができた。

### (3) 創造的な技能

ヘラや紙やすり、カッター等を使用するための必要な技能を身に付け、抽象彫刻の形に合わせた表現方法を工夫し、創造的に表すことができた。

### (4) 鑑賞の能力

他者の作品の表現の工夫を感じ取り、抽象表現の多様性や美しさを理解し、創造的に味わうことができた。